

仕入先企業とのパートナーシップにより、 製品ライフサイクルでのCO₂削減に取り組んでいます。

部品製造工程で排出するCO₂を「見える化」するツールを開発。

仕入先企業のCO₂削減の取り組みを支援しています。



背景写真：グリーン調達大会 大森事業所

リコーグループと仕入先企業の 経営体質強化を目指したグリーン調達活動。

リコーグループでは、仕入先企業とのパートナーシップによるグリーン調達活動を推進しています。グリーン調達とは「環境保全の進んだ工場で作られた、環境負荷の少ない原材料・部品・製品を調達すること」です。狙いは製品ライフサイクル全体の環境負荷の低減と資源・エネルギーの有効活用によるコスト低減で、さらにこれらの積み重ねにより、リコーグループと仕入先企業の経営体質強化を目指しています。1998年から仕入先企業の環境マネジメントシステム構築支援を開始し、2003年には世界1,089社で構築。化学物質マネジメントシステムは2006年に世界734社で構築を完了しました。

リコーの生産工程のみならず、 部品製造工程に遡ったCO₂削減活動を展開。

リコー製品のライフサイクルで発生する温室効果ガスを分析すると、原材料・部品製造のステージで発生する割合が大きくなりました。地球温暖化防止は産業界にとって今や最優先課題のひとつですが、仕入先企業で発生する温室効果ガスの削減は社会全体の環境負荷を引き下げるうえで大きな効果があります。リコーグループでは、かねてから自社で取り組んできた生産プロセスにおけるCO₂削減活動のノウハウを活用して、2007年にはツールを提供して仕入先企業のCO₂削減支援を試行しました。2008年から本格的に開始します。

活動を推進する社員の声

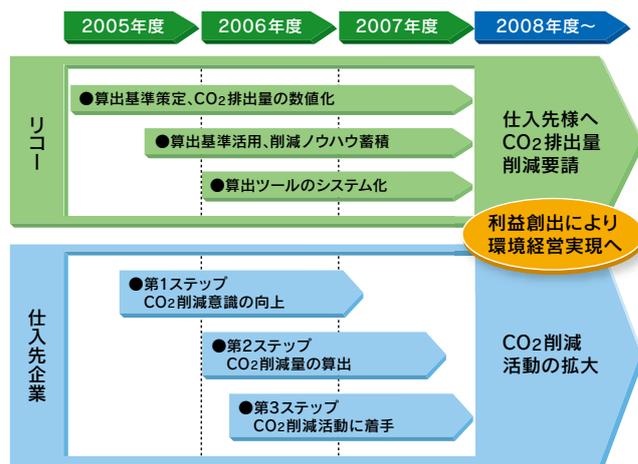
仕入先企業が有効な削減活動を行うためのツールを提供。

仕入先企業にCO₂削減を推進していただくうえで大きなハードルとなったのは、前提となるCO₂排出量の正確な把握が難しいことです。そこで私たちは独自の算出ツール「リコレット*」を開発しました。リコレットは工程ごと設備ごとにCO₂排出量を「見える化(可視化)」し、どうすれば効果的な削減が可能か、具体的な改善策を導き出すためのツールです。仕入先企業は電力量や材料の質量など基本的なデータを入力するだけで、専門知識がなくてもCO₂排出量を把握できます。2007年度から先行69社が運用を始めました。2008年度には国内主



資材統括センター
資材戦略室 室長 菅野 実

仕入先企業CO₂削減活動のステップ



要仕入先企業へ順次展開し、各社自主的な削減目標のもとCO₂削減に取り組んでいただく予定です。

* リコレット=RICO₂RET: RICOH CO₂ REDUCTION & EVALUATION TOOL



説明会の様子

仕入先64社が集まったリコレット導入説明会。

2007年12月5日、仕入先企業64社の皆様にお集まりいただき「リコレット導入説明会」を実施しました。仕入先企業の方々にリコー社員がリコレットの操作方法を説明し、算出結果の分析による具体的な削減施策の検討などを行いました。2008年1月には3日間の個別相談会を設け、各社の事情に合わせた運用のフォローアップを行いました。

Voice

仕入先企業の声

リコーのツールでCO₂排出量をより正確に把握できました。

リコーグループのグリーン調達大会でリコレットの存在を知り、当社から試行を申し出ました。当社はOAやPC関連部品などのソフトプレス製品を供給するグローバルメーカーです。2006年のISO9001+14001統合認証取得を機にグループでCO₂排出量をとらえ直し、積極的な削減活動を推進しようと考えていた矢先だったので。実際に算出すると、部品によってCO₂の主な発生要因が異なっているのがわかりました。分析結果はグラフ表示なのでターゲットが目でわかり、即改善アイデアにつなげられます。今後は工程改善の推進とともに、リコレットを使ってグループ全体のCO₂削減目標を設定し、ステークホルダーの皆様にご覧いただけるよう頑張っております。



千代田インテグレーション株式会社 様
常務取締役 高山 勝様
環境管理室長 林 章裕様
厚木営業所 山本 晃太郎様